「小河内」便り　第７号

「Ｏ（オー）・プロジェクト」　*平成２２年８月*

連絡先
〒７３１－１１７１　広島市安佐北区安佐町小河内　安佐小河内集会所（代表　安福孝昭）
ＴＥＬ＆ＦＡＸ　０８２－８３５－０８３１
ホームページＵＲＬ　http://ogauchi.web.fc2.com/

今年の夏は暑かったですね。応援団の皆様お元気ですか。

猛暑日や熱帯夜の記録が更新された、と報道されました。地球温暖化の影響でしょうか。

しかし、日の出、日没時間は刻々変わり、昼間の時間がだんだん短くなってきています。もうすぐ秋の彼岸になります。季節は確実に秋に向かっています。人力ではいかんともし難い宇宙の運航に私たちは全てを委ねています。生かされているのですね。お盆を過ぎ、小河内は水田が黄色に染まりました。今年は豊作と予報されていますが、農業は自然を相手の生業で刈り取るまで油断はできません。９月に入ったら稲刈りが始まります。

これからは秋野菜のシーズンです。近所の野菜づくり名人から白菜は８月２８、２９，３０日の３日間のうちに種を播かないと上手く巻かない、とご教授いただきました。

母が元気なころは、その時期を教えてくれていましたが、当時は本気でなかったか、覚えていませんでした。種まきの時期を、お盆を過ぎて何日目か、木の芽どきや鳥の鳴き声等季節の変化を農業に取り入れていたのですね。農業は自然と密接に結びついています。

農業は工業製品のような１秒やミクロンの世界ではなく、季節と言う長いスパンの産業でアバウトですが、それでも時期を逸すれば良い収穫は期待できません。

それでも農家（農を愛する人）は実りを信じて暑い中、畑を耕し、種を播きます。

この秋は雨か嵐かしらねど、今日の勤めに田の草取るなり（二宮尊徳翁）

さて、小河内応援団の皆さま如何お過ごしですか。夏の疲れが出ませんように十分ご留意して下さい。次回の観察会は下記の通り、実施します。小河内産新米の試食（おむすび３ヶ）も出ますので、是非ご参加され小河内の秋の恵み味わって下さい。

第４回地域資源観察会のご案内

季節が変わり、田んぼが黄色になり実りの秋になりました。今回は小河内の秋を楽しみましょう。小河内の皆さんも是非ご参加下さい。都市住民の応援団の方との交流をしましょう。多くの皆さんのご参加をお待ちしております。

日　　時　**平成２２年９月２５日（土）**午前１０時から午後３時頃まで

集合場所　１０：００　小河内郵便局前集合
※バスで参加される方はここで下車して下さい。

日　　程　１０：００　受付、オリエンテーション（雨天決行、但し日程が変更します）
その後、三根集落住民ガイドが蛆腹神社や呼び石、カヤの木、銀杏の木

蛇石、縄ない工場跡地域の歴史や言い伝えの説明を聞きながら観察します。
同時に広島自然観察会員が散策途中の植生物についても解説します。
１２：００　昼食、休憩（万福寺）
小河内の伝承話（紙芝居）、小河内の歴史、大仏溝の今昔写真展
１３：３０　観音寺
１５：００　終了予定

講　　師　地域資源：三根、大仏溝住民、自然観察：広島自然観察会会員・

参加費　３００円　（新米の試食（おむすび３ヶ）の用意をしております）

持参物　飲み物・タオル、帽子、筆記用具・雨具（雨天の場合）
新米のおむすび３ヶも出ますが、不足と思われる方はお弁当を持参して下さい。

その他　・新米の販売も致します。
・暑さ対策と歩ける服装や靴で参加して下さい。

連絡先　安福宅　電話８３５-０９２４　又は安佐公民館　　電話８３５-０１１１
参加希望者は９月１８日までに上記にご連絡下さい。
尚、当日受け付けします。

小河内情報

割りばしリサイクル「着火材」を商品化しました。

「Ｏ・プロジェクト」で小河内の新しい産業による所得と雇用創出を目的に、地元の炭焼き名人の炭焼き技術と民間企業の割りばし回収システムを活用した割りばしリサイクル着火剤を商品化しました。大手ホームセンターから依頼のあった改善事項を先日「Ｏ・プロ」メンバー数名と企業の社長の立会で実験をしました。結果は改善点をほぼクリアするものでしたので、８月２６日付け中国新聞朝刊「広島圏域版」に大きく紹介されました。
メーンの販売先は大手ホームセンターを予定していますが、小河内住民や応援団の方で販売を希望されるお店を御存知でしたらご紹介下さい、ご説明させていただきます。

れんこん（蓮）の花が満開です。

安楽寺下の県道筋の田んぼにれんこんを安佐北区農林課の指導で植えました。
近くの中川徹也さんが一生懸命管理され、今花が満開です。又新しい小河内の観光スポットができました。小河内を通られる時は是非お立ち寄り下さい。安佐小河内集会所のとなりです。

（写真説明　左上が安楽寺　右は今満開の蓮の花）

小河内の案山子

小河内上三根集落の田んぼに変わった案山子を見つけました。
平本正志さんの作品です。表現はともかく、農家の心を率直に表現されていて、話題になっています。

今後の予定（年内）

１０月２４日（日）柿もぎ隊

安佐北区農林課との共催事業、応募受付は安佐北区農林課へハガキで。
詳細や締切日等は「市民と市政」（９月１５日）や市ホームページ等で発表されます。

１１月６日（土）・７日（日）

小河内養山八幡神社秋季大祭、式典、吹囃子行事
吹囃子行事は、江戸時代から２００年続く小河内最大の行事で広島市無形文化財です。
又、前夜祭は地元「昭和劇団」の村芝居を村人(役者は全員地元の素人)が泣かせ、爆笑させる演技を好演します。８０年以上の伝統ある県内でも数少ない地域の劇団です。

１１月２７日（土）

第５回地域資源観察会
限界集落と言われる小河内最大の過疎地黒瀬集落から小河内最高峰の滝山（６９２ｍ）登山です。牛頭山（６８９ｍ）の反対側（北西方面）です。
山の反対側は安芸太田町安野です。詳細は次回の小河内便りで案内します。

その他

年内に農家の縁側でお茶を飲みながら農家の暮らし等体験する「縁側カフエ」や「孟宗竹伐り体験」等の行事を考えています。

編集後記

この便りを発行しなければならない時に、突然朝起きて肩が猛烈に痛くなり、続けて激しい下痢、高熱で２日間続けて外科医と内科医に行きました。猛暑も重なり夜も痛みや下痢で眠れずフトンの上での苦しい数日間でした。肩が痛くてキーボードをたたくことも箸さえ持てない状態でした。毎度そうですが、病気になって初めて健康のありがたさが分かりますね。
お陰で今日はパソコンが使えるようになりました。遅れたことをお詫びします。
皆さまご健康には十二分ご留意下さい。健康に勝る財産はありません。名言です。
又、今回も写真を入れ重くなりましたので、郵送します。写真はカラーでなくすみません。
尚、今号から小河内の自治会加入全世帯に自治会を通して配布することになりました。
是非小河内の皆さまご参加下さい。（迫田勲記）

広島のもう一つの奥座敷・ターミナル（終着駅）

安佐北区　小河内（おがうち）

http://ogauchi.web.fc2.com/

§：地球と環境が身近に感じられる

・豊かな自然と多様な生き物がいる（昆虫，蛙、蛇、鳥、猿、熊・・・）
・農村の原風景、農業文化が残っている
・食料と環境の生産地
・自給自足的生活を楽しめる
・清流太田川と小河内川

§：歴史とロマン、伝統文化に出会える

・江戸時代から続く養山八幡神社の吹囃子行事・８０年の伝統を誇る村芝居「昭和劇団」・農の心を今に伝える田楽囃子
・牛頭山（城跡）と１３代城主小河内弥太郎ものがたり
・多くの伝承話

§：生きる力を備えた人（名人・達人）に出会える

・生活の知恵、技、文化を備えた人材
・名人、達人（農業、加工品、郷土料理、民芸品、炭焼き、魚釣り絵画、習字、写真）

§：広島市青少年野外活動センター、こども村

・大自然に溶け込み、キャンプや農業体験等ができる
・牛頭山（６９２m）登山（約１時間）瀬戸内海や宮島、中国山脈が眺望

自然と離れ、比較と競争、合理性、効率性追求のライフスタイルから、大自然に溶け込んだ新しいライフスタイル（里ライフ）を創造しませんか

小河内は、広島市の新政策「里ライフ創造」のモデル地区

小河内で自分流の里ライフを体験、創造して下さい